

●新任の先生方からメッセージ	2
●会員だより	3
●地域科学部からのお知らせ	4
●進路状況	5
●役員紹介	6
●2023年度会計報告	6

## 2024年度 森の会 総会・懇親会ご案内

今年度は大学祭の期間に、懐かしいキャンパスで総会・懇親会を企画しました。  
同窓生・先生方とお互いの近況を語り合しましょう。また、在学生との交流も計画しています。  
友人同士・先輩後輩お誘い合わせの上、多くのご参加をお待ちしております。

### 日時

2024年 **11月3日(日)** 10:30~14:00(受付10:00~)

10:30~10:50 森の会総会

岐阜大学副学長 大藪 千穂氏 祝辞

10:50~11:50 キャンパスツアー「ブラトガシ」

2017年にNHKの人気番組「ブラタモリ」の岐阜市  
ロケでタモリさんの案内人として出演された岐阜大学  
名誉教授の富樫幸一先生に、岐阜大学キャンパスを案内  
していただきます。知らなかった母校を発見しましょう!

12:00~14:00 懇親会

在学生との交流タイム

### 場所

岐阜大学地域科学部棟 第1会議室・101教室

岐阜市柳戸1-1

### 懇親会会費

1,000円(在学生は500円) 当日受付にてお支払い下さい。

飲食代金の一部は森の会が負担いたします。

### 申込方法

メールまたはFAXでお申し込みください。

申込の際に氏名、住所、所属ゼミ、電話番号、森の会ニュース発送封筒宛名シールの  
右下記載の番号をご明記ください。

今回残念ながらご欠席の方も、是非とも皆様への近況報告をお寄せ下さい。

**【申込み締切】 2024年10月11日(金)**

「子どもと一緒に参加したい」など、ご希望等がありましたら、森の会事務局までお気軽にご連絡下さい。

TEL : 058-293-3021(火・水・金 9:00~15:00) FAX : 058-293-3008

E-mail : mori2001@t.gifu-u.ac.jp

森の会(岐阜大学地域科学部同窓会)ホームページ  
<http://www.rs.gifu-u.ac.jp/alumni.html>



森の会  
ホームページに  
簡単にアクセス  
できます

# 新任の先生方からメッセージ

## 「越境者」として文化の越境について考えること

地域文化講座（日本近代文学・比較文学） ● <sup>ぎ しん</sup>魏 晨 助教

2024年4月に着任しました魏晨と申します。専門分野は日本近代文学です。具体的には、近代以降日本文学・文化の越境について研究と教育を行っています。

なぜこれについて興味を持ったかという、私自身も越境者として越境した日本文化を享受してきたからです。子供の頃から、中国の天津にいながら、日本製のテレビ機やカメラなどを使ったり、日本の小説、映画やゲームなどを楽しんだりしてきました。そして、日本に行ってみようと思い、大学の日本語科に進学し、その後日本へ留学にきました。日本文化に興味を持ったので留学に来たのはよくあるパターンですが、実際に日本に来てみたら、日本という異国の文化を身近に体験すると同時に、外国人としての自分とも向き合わなければならない。そこで、越境する文化だけではなく、越境者についても深く考えるようになったのです。文化や人間は国境を越えて異なる社会空間に置かれたことで、どのように変容したのか、どのような機能を果たしたのか、思考し続けたいです。

博士論文は「満洲」をめぐる日本語の児童文学に関する研究でした。戦前日本支配下の中国東北部で書かれた児童文学が、帝国主

義拡張とどのような関係を結びつけられたのかについて考察しました。その後、自分自身も翻訳者として日本文学の中国語訳に携わったこともあって、文化が国境や言語の境界を越えるにあたって、非常に重要なプロセスとされる「翻訳」について研究を試みました。これからも日本文化の越境にあたって生み出された諸現象について学生たちと考えていきたいと思っています。

着任する前に岐阜大学を訪ねたことはありませんが、岐阜自体はとても馴染みのある地域です。名古屋大学に10年間在籍していたので、よく岐阜へ遊びに来たりします。長良川ではじめて花火大会を見ましたし、高山で飛騨牛のお寿司を食べてそのおいしさに感動した記憶もあります。これから学生たちや同僚たちと一緒に「岐阜の文化の越境」を考えたり、実践したりしたいと思っています。まだ着任したばかりの未熟者ですが、どうぞよろしくお願い致します。



## 回想そして（若干の）展望

小学生の頃、日本の歴史をテーマにした、とある学習漫画シリーズを時代順に通読したことがある。その中で違和感を覚えたのは、戦国時代を扱う巻と、アジア太平洋戦争時代を扱う巻との間にみられる、あまりのトーンの違いであった。一言でいえば、前者が、血沸き肉躍る群雄譚をユーモアたっぷりに描くエンターテインメント風なのに対し、後者は、人間が生み出す悲劇を終始厳めしく語りかける教科書風ということであるが、いずれも日本の、それも戦争の歴史を扱う点で同じであるにも拘わらず、こうも描き方が違うのかと驚いたのである。今から思えば、そこには、歴史を語るという行為がもつ「実践」性であるとか、「歴史と記憶との関わり」といった問題を考える素材が秘められていたのであるが、そのようなことはつゆ知らぬ当時の私は、自らの頭の中で、「戦国時代」を「エンタメ」と等号で結ぶようになってしまった。やがてこのイメージは、小説・時代劇などを見聞する中で、さらに増幅されることとなる。

その後、私は、様々ないきさつを経て、15～16世紀の地域史・村落史を専攻する道を歩むことになったが（大学4年次ようやく研究対象が定まった）、上記の経験もあり、戦国時代を学問の対象とすることへの後ろめたさにも似た感情は、自身の心の中に長く燻り続けることとなった。振り返るに私は、歴史学を生業としない人たちに自身の専門を披露することからどこか逃げてきたように思う。「好きな武将は誰ですか？」と、お決まりの反応をされることにやや辟易し

地域構造講座（歴史学・日本史） ● <sup>みずばやし じゅん</sup>水林 純 助教

ていたというのも大きい。しかし、考えてみれば、それは結局のところ、自らの動機—なぜこの時代を研究しなければならないのか—を相手に説得する言葉を私自身欠いていたことの証明でしかない、今は感じる。

このたび、岐阜大学地域科学部よりご縁をいただき、地域史を講義する僥倖に恵まれた。文系理系の双方にわたり、興味関心の実に多様な学生諸君と相対する日々であるが、この上は、もはや逃げるという選択肢はない。史学コースのない本学において、また、良きにつけ悪きにつけ「いま」志向の強い大学生たちに向けて、歴史学の意義を伝えることは困難を極める（戦国時代に限らない）。しかし、逆にそうした環境であればこそ、私たちはなぜ過去と現在を行き来するのか、戦国時代を触媒とすることで、私たちが生きるこの世界（そして、そこに生きる私たちという存在）をいかに読み解き得るのかという問いを、改めて真剣に考え直せるかも知れない。そのような期待を抱く今日この頃である。



史跡巡見中の筆者  
（東京都調布市・深大寺城跡にて）

退職された先生のご紹介

2023年9月30日付

芹口 真結子 助教（地域構造講座 地域史）

2024年3月31日付

内海 智仁 教授（地域文化講座 英文学）

## 会員だより

第3期生(山崎仁朗ゼミ) あじおか まさき  
味岡 正樹

卒業して早いもので20年以上経過しています。1999年に入学した味岡正樹と申します。今回、同窓会の方からお話をいただき、誠に光栄に思っております。

私は、大学時代、白樫・山崎ゼミに所属し、地方自治と住民自治についてフィールドワークを交えて学び、卒業論文では市町村合併と住民自治というテーマを深掘りしました。

就職活動を始めた3年生の時には、既に自治体の職員を目指そうと思っていたように思います。

そして、大学卒業後、紆余曲折を経ながら、2006年に現在の日進市役所に入庁し、多様な業務に携わりながら日々を送っております。

入庁後、最初の5年間は下水道課での勤務でした。下水道使用料の賦課徴収や下水道事業の経営分析といった具体的な業務を通じて、自治体のあり方や役割を学びました。次に財政課へ異動となり、市全体の予算管理や地方公会計制度への対応を担当しました。そして、研修の一環として1年間愛知県庁へ派遣され、市町村の財政運営の支援を行いました。

その後、財政課で2年間経験を積んだ後、子育て支援課へ異動しました。その頃、新型コロナウイルス感染症が急速に広がり始め、子育て環境の営みに影を落としました。感染拡大に立ち向かいながら、子育て支援策を策定し推進に尽力しました。

そして現在所属している、人事課へ異動。給与や服務を担当する傍ら、職員が安心して働ける環境作りに注力しています。今日までの職務を振り返ると、多様で実り多いものであり、これからも地方自治への想いを胸に、職務に努めていく所存です。

同窓生の皆様におかれましても、それぞれの場所で活躍されていることと思います。これからの益々のご活躍をご祈念申し上げます。ありがとうございました。



## 新役員の紹介

第24期生(南出吉祥ゼミ) たかす けいた  
高須 啓太

こんにちは。2023年度卒業生の高須啓太と申します。私の岐阜大学生としての生活は新型コロナウイルスの感染拡大とともにスタートし、コロナとともに過ごした4年間でしたが、その中でも地域や自分と向き合い、学び、成長できる素敵な環境で4年間を過ごすことができたと思っております。

私は南出ゼミに所属しておりました。地域科学部での学びは「常識」とは何なのかをさまざまな側面を考え、一般的に言われている考え方は本当に正しいのかを考えることも多く、ゼミの先生や仲間と議論し合う中で物事を多角的に見ることができるようになってきました。卒論でも新型コロナウイルスによる学生の変化と支援を題材にし、さまざまな側面から分析することができました。

私は在学時には岐阜大学生協学生委員会で活動しており、ご縁があって現在も大学生協でお仕事をさせていただいております。大学生協の事業や活動ではただモノ

やサービスを提供するのではなく、大学や社会の変化、大学生の生活に目を向け、現在や未来の学生に必要なものや求められているものを日々考えております。そのような仕事の中でも地域科学部で培った物事を多角的に見る力は大いに発揮されていると感じています。

地域科学部で出会った先生や仲間にはとても感謝しており、大好きな地域科学部に同窓会役員として関わらせていただけることを嬉しく思います。よろしくお願いたします。



## 地域科学部からのお知らせ

### 11月2日(土)はホームカミングデイ。久しぶりに大学に“帰りませんか?”

ホームカミングデイとは、卒業生や在校生とそのご家族、地域の方など、岐阜大学に関係するすべての方々が相互に交流・連携を深めていくことができるよう企画されたイベントです。昨年からは始まり、今年度は第2回目となります。今年度は、午前中に大学全体としての企画があり、その一つとしてノーベル物理学賞を受賞された名古屋大学の天野浩先生が講演をされます。(これは岐阜大学が東海国立大学機構になったからこそ実現した貴重な講演だということです。) 午後は、学部ごとにイベントが企画され、地域科学部、地域科学研究科でも次のイベントを企画しています。

#### 1. 公開講演(対談)「人生100年時代にどう学ぶか」

講演者：地域政策学科 山本 公德 教授・山県市副市長 久保田 裕司 氏(地域科学研究科2年生)

2. 懇親会：「地域科学部・地域科学研究科の今」：現役の教員が、現在の地域科学部の様子をお話します。

3. 展示：地域科学部の研究：各教員の研究をパネルで紹介し、また著書も展示します。

ちょうど、大学祭も開催しています。卒業生の皆さんの「お帰り」をお待ちしています。

### 同窓生アンケートにご協力をお願いします!

地域科学部では、よりよい教育研究を進めていくために、6年ごとに外部評価を実施しています。その際、同窓生の声が評価の大きな判断材料となるため、同窓生アンケート調査を行いたいと考えています。皆さまが地域科学部および地域研究科での学びを振り返っての思いや今後期待したいことなど、忌憚のないご意見をお聞かせください。右のQRコードを読み取り、**8月31日(土)まで**にご回答ください。ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



卒業生



修了生

### 岐阜大学地域科学部基金のご協力とお願い

地域科学部及び地域科学研究科が更なる飛躍発展を遂げ、地域社会からの信頼と期待に応え、地域社会に貢献する責務を果たすために、ご寄附をお願いします。

この基金による支援事業は、1. 学生に対する学術交流協定校への留学支援、2. 教育研究活動に対する支援、3. 産学官連携及び社会貢献活動に対する支援、4. キャンパスの環境整備・充実に対する支援等としております。多くの皆様のご協力により、本学部・研究科の教育研究活動を支援し、もって地域社会の発展に貢献しうる学生を養成するために本基金を活用させて頂きたく存じます。

つきましては、皆様には本趣旨をご理解の上、格別のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

岐阜大学地域科学部基金のご協力とお願い

URL : <http://www.rs.gifu-u.ac.jp/newstoppers/2020/11/13/post-61.html>

岐阜大学地域科学部 学部長 内田 勝

## 進路状況

## 学部進路 2023年度卒業生進路状況(2024年5月1日現在:カッコ内は人数で1名の場合は省略)

## 公務員(48)

経済産業省  
厚生労働省(8)  
国税庁(3)  
国土交通省  
財務省(2)  
総務省  
法務省(2)  
防衛省  
裁判所  
出入国管理庁  
林野庁  
岐阜県(5)  
愛知県(2)  
滋賀県  
岐阜市  
名古屋市(5)  
各務原市

大垣市(2)  
本巣市  
美濃加茂市  
一宮市(2)  
豊田市  
津島市  
新宿区  
立山町  
関ヶ原町

## 製造業(13)

The POW BAR & co.  
アサヒ飲料(株)  
中央製乳(株)  
レンゴー(株)  
イイダ産業(株)  
親和パッケージ(株)  
(株)アテック  
日本特殊陶業(株)  
コニカミノルタ(株)  
(株)ダイフク  
トヨタ自動車(株)  
MMCリョウテック(株)  
ミスノ(株)

## 情報通信業(11)

(株)JEMS  
(株)アイシティ情報  
(株)ジャパンテクニカルソフトウェア  
(株)セガフェイブ  
(株)リンクス  
(株)第一コンピュータリリース  
(株)中広  
エイ・フォース(株)  
スマートエンジニア(株)  
ハートランド(株)  
日本ビジネスシステムズ(株)

## 金融・保険業(7)

(株)十六フィナンシャルグループ(2)  
岐阜信用金庫  
大垣西濃信用金庫  
東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)  
東濃信用金庫  
碧海信用金庫

## 建設業(7)

(株)テクノプロ・コンストラクション  
(株)服部組  
TSUCHIYA(株)  
シーキューブ(株)  
吉永建設工業(株)  
生和コーポレーション(株)  
矢作建設(株)

## 運輸業(4)

西日本旅客鉄道(株)  
西濃運輸(株)  
濃飛乗合自動車(株)  
名古屋鉄道(株)

## 生活関連・娯楽業(3)

(株)キタムラ  
(株)名鉄インプレス  
(株)明輝クリーナー

## 専門技術サービス業(3)

(株)アドプランナー  
税理士法人中央総研  
日鉄日立システムソリューションズ(株)

## 飲食・宿泊業(1)

ルートインジャパン(株)

## 教育・学生支援業(2)

リード進学塾(プロジェクトリーズ(株))  
アクセル個別進学塾

## 卸・小売業(2)

(株)コスモフーズ  
中部薬品(株)

## 医療・福祉業(1)

メディカル・ケア・サービス(株)

## 電気・ガス・水道業(1)

東邦ガスセイフティライフ(株)

## 不動産・物品賃貸業(3)

セキスイハイム中部(株)  
東急リバブル(株)  
野村不動産コマース(株)

## 複合サービス業(2)

いび川農業協同組合  
全国大学生生活協同組合連合会

## その他のサービス業(3)

(株)キャリアデザインセンター  
(株)スタッフサービス・ホールディングス  
岐阜県保険医協会

## 進学(4)

名古屋大学大学院教育発達科学研究科(2)  
明治大学大学院文学研究科  
國學院大学大学院文学研究科

卒業生数 ..... 120  
就職希望者数 ..... 113  
就職決定者数 ..... 111  
進学者数 ..... 4  
進路未定者数 ..... 2  
その他 ..... 3

就職率 ..... 98.2%  
(就職決定者数 ÷ 就職希望者数)

## 研究科進路 2023年度修了生進路状況(2024年5月1日現在:カッコ内は人数で1名の場合は省略)

## 製造業(1)

日本クッカー(株)

## 情報通信業(2)

(株)TOB  
AKKODisコンサルティング(株)

## 教育・学習支援業(1)

[中国]石家庄深具一中

修了生数 ..... 15  
就職希望者数 ..... 6  
就職決定者数 ..... 4  
進学者数 ..... 0  
進路未定者数 ..... 2  
その他<sup>※1</sup> ..... 9

就職率 ..... 66.7%  
(就職決定者数 ÷ 就職希望者数)

※1 社会人修了生を含む

## 会長あいさつ

森の会 会長 浅井 彰子

会員の皆さま、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

今年度新たに正会員となられた皆さま、ご卒業、ご修了まことにおめでとうございます。3月の卒業式は数年ぶりに通常通り行われ、嬉しく思いました。その後の新しい道におかれまして、お一人おひとりのお力を発揮されていることでしょう。

3月に134人の皆さまをお迎えして、森の会の正会員は

3,018人となりました。岐阜大学他学部の同窓会に比べますと小さな組織ではありますが、会員の皆さまがさまざまな分野において活躍でいらっしゃる事が自慢の同窓会です。

今年は大学祭の期間に合わせて総会・親睦会を企画いたしました。懐かしいキャンパスで旧交を温めましょう。大勢の皆さまのご参加を期待しております。

再会を心待ちにしつつ、皆さまのご活躍を祈念申し上げます。

## 2024年度 森の会役員

会 長／浅井 彰子①

副会長／浅野 善信① 都築 尚子①

幹事長／伊藤 健人③

幹 事／伊藤 雅浩① 小澤和歌子① 眞鍋 陽子① 後藤 祐治③ 笠原 正博⑩ 平野 純里⑪

藤井 敬子⑪ 野村 惇貴⑫ 小塩 里予⑭ 西野 公美⑭ 並木 未有⑮ 高須 啓太⑯

会 計／荒瀬 修三③ 森 佳奈⑯

監 査／祖父江利佳① 川脇沙也佳⑯

(氏名の後の○の数字は、期生を表します ①…第1期生)

森の会 会員数 3,018名

(2024年4月1日現在)

## 2023年度会計報告

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

### ●収入の部

(単位：円、小文字は内訳)

項 目	決 算 額
会 費 (10,000円×74名)	740,000
懇親会費	39,000
受取利息	88
その他	0
当期収入合計	779,088
前年度繰越金	1,045,840
収入合計	1,824,928

項 目	収入の部	支出の部	差引計
次年度繰越金	1,824,928	1,067,665	757,263

### ●資産保管状況

項 目	現 在 高
現 金	0
普通預金	
十六銀行	757,263
ゆうちょ銀行	0
定期預金	
十六銀行	7,000,000
合 計	7,757,263

### ●支出の部

(単位：円、小文字は内訳)

項 目	決 算 額
事業費	482,193
会報等印刷費	208,120
会報等郵送費	274,073
卒業・修了祝会祝い金	0
事務費	397,077
人件費	381,535
事務用品費	2,090
通信費	9,888
その他	3,564
会議費	51,540
諸会費	0
役員会雑費	17,790
交通費	33,750
総会費	136,855
総会経費	4,581
懇親会経費	110,000
講演会	22,274
予備費	0
当期支出合計	1,067,665
当期予備費合計	0
支出合計	1,067,665

森の会では、みなさまからの近況報告、ご意見・ご感想を募集しております。連絡先等に変更があった場合は、メールにてご連絡ください。

### 連絡先

森の会 (岐阜大学地域科学部同窓会)

〒501-1193

岐阜市柳戸1番1 岐阜大学地域科学部内

TEL : 058-293-3021 FAX : 058-293-3008

E-mail : mori2001@t.gifu-u.ac.jp

メールアドレス(機構)に変更、@のうしろに、t. が付きます。

森の会ホームページ <http://www.rs.gifu-u.ac.jp/alumni.html>

事務局業務日(火・水・金 9:00~15:00)



森の会アドレスに  
アクセスできます

